

についてお話しただけならと思います。

吉岡 一言で言うと非常に寂しい気持ちです。朝学校の前を通ったら朝練する子どもが活動しているし、放課後も必ずグラウンドで子どもの姿が見える。夜も通ったら職員室に明かりが見える。そういう人影がなくなり、新聞でも立江中学校の活躍の記事が出てきたら自分のことのように思ってきたのがなくなってしまう。立江中学校という固有名詞がなくなるのは寂しいというのが素直な気持ちです。新中学校は素晴らしい環境でゼロからスタートするので、子どもたちはもちろん先生方や地域の方など関わる人すべてがそれぞれの立場で頑張って、不安を払拭して素晴らしい学校にしてほしいと思います。将来的には市内で二つの中学校になるので、良い意味でのライバルになってもらいたいと思います。

廣田 立江中学校がなくなるのは本当に寂しいです。しかし、母校がなくなっても立中の卒業生として誇りをもちたいと思います。私だけでなく卒業生すべての方々が立中卒業生という気持ちをもっているのです。すべての卒業生がそう感じてくれたらいいなと思います。新中学校については、それぞれの中学校のいいところを寄せてきて、新しい校風を育てていってもらいたいと思います。

下川 自分は中学校の時の担任の先生がすごく尊敬できる先生で、その時の夢が先生になってテニスができてというのを描いて立江中学校を卒業しました。その夢を貫いたように、新任、教諭、教頭として勤務させていただき、立中の子どもたちにテニスを教えるというのを叶えさせてもらったのでありがたいと思っています。その立中がなくなるのは今の時代だから仕方ないのですが、これから新しい中学校として伝統をつくっていくことになると思うので、先生も生徒もみんな頑張ってもらいたいと思います。

船崎 私は中学校時代が一番印象に残っているし、一番楽しかったです。授業の5時間目6時間目が来たら、早く授業を終わってほしいと部活動のことを考えてウズウズしていた中学校時代であったのが良い思い出として残っています。中学校時代は難しい時代と言われていますが、私たちが打ち込むようなものを提供してくれて良かったと思っています。ちょうど2年くらい前に、私たち立江中学校の24回卒業生の同窓会を卒業してから40数年ぶりに初めて開催しましたが、閉校することによって余計に



同窓生のつながりもできてくるのかなと思いますし、新中学校には立江という名前がついていないのが残念ですけども、立江中学校と坂野中学校と一緒にあって新しい魅力とか伝統とかを築いていってもらえたらいいなと思います。

谷本 私は櫛淵小学校と坂野小学校とに勤めた教員の立場から考えてみますと、保護者や地域の方々も同じだとは思いますが、通学路が遠くなる子も多くなり、この子どもたちは遠いところへ通うようになるなと思うと同時に、安全に通学してほしいと願っています。新中学校ができる市内には中学校は2校になるので、切磋琢磨して新しい伝統をつくっていったら小松島市の活気につながるのかなと思い、期待もしています。

関貫 いろいろな立場からの想いをありがとうございました。心配事もあったり期待もあったりして新中学校がスタートするのかなと思います。立中の流れもくんでいますので、学校から依頼があったら是非お力をお貸し願えたらと思います。長時間楽しい話や思い出話をうかがわせていただきました。最後には立中がなくなるということについての想いもお話をさせていただいたし、新中学校への願いもお話いただきました。今後ともよろしく願いいたします。今日はありがとうございました。



プール